深い学びのために

学習のポイントの解答例

1 **それぞれの詩の主題は何か、考えてみよう。**

【答】「富士山」は、機知をまじえて日本の景物を描写すること、「烏児塞宮」は、西洋の宮殿を見て歴史をしのぶことにそれぞれ主題がある。

▼ポイント▲　「学習活動のポイント」「語句の研究」「鑑賞」を参考にして、漢詩が語句を通じてイメージを操作することによって主題を明確にする文学であることに気づかせる。

　そのさい、語句のイメージが一つに限定されるのではなく、いくつかの層からなっていること、とりわけ現実の事物に伝説や歴史を重ねることで、そうした複数のイメージの層を作り上げていることに、注意を向けさせる。「富士山」であれば、比喩によってそうした複数の層が構成され、「烏児塞宮」であれば中国の歴史と西洋のそれとの重ね合わせによって、複数の層が構成されている。それぞれの主題は、漢詩に特有であると言えるが、同時に、それぞれ日本と西洋という別の世界のイメージが重ねられることで、新たな漢詩の世界が獲得されているところに、こうした漢詩のおもしろさがあることを理解させたい。

言葉と表現の解答例

1 **次の語について、それぞれどのようなイメージを読者に与えるか、話し合ってみよう。**

(1)　仙客（一五四・3）　**(2)　神竜（一五四・3）**

(3)　鳳輦（一五四・7）　**(4)　玻璃（一五四・10）**

【答】(1)と(2)は仙界のイメージ、(3)は中国の皇帝のイメージ、(4)は西洋文明のイメージ。

▼ポイント▲　漢和辞典を引かせ、類義語などを列挙させる。指導者は「学習活動のポイント」「語句の研究」「鑑賞」を参考に、そのイメージの広がりについて説明を加える。

言語活動の解答例

1 **富士山やヴェルサイユ宮殿を漢詩の題材とすることの効果について話し合い、発表してみよう。**

【答】　それぞれ富士山やヴェルサイユ宮殿など、日本やヨーロッパの景物や建築物を対象として、中国で生まれた漢詩という形式を用いることで、複数の世界が融合したような表現を実現させている。

▼ポイント▲　おもに「学習活動のポイント」の「まとめ」をふ

まえた説明を行い、中国的なイメージと日本的なイメージ、西洋的なイメージを感じられる語句を抜き出させ、なぜそう感じられるのかをグループで話し合う。

さらに、それらのイメージが組み合わさることで、唐詩などとは異なった世界が描かれているかどうか、描かれているとしたらそれはどのような点においてかを議論させ、適宜指名して発表させる。「語句の研究」「鑑賞」を利用して、指導者が示唆を与えながらこうした作業を進めることも有効である。

（齋藤　希史）